



御祭神 玉依姫命(たまよりひめのみこと)
住所 千葉県東庄町豊本四三四



御祭神 天日御子(あめのひりのみこと)
住所 千葉県市見市二丁目一番地



御祭神 豊玉姫命(よたまひめのみこと)
住所 千葉県市見市一七番地

第五十四回 式年 鉾子大神幸祭

平成二十二年四月十日(土)、十一日(日)、十二日(月)の三日間、二十一年に一度、永い歴史と伝統を誇る有名な鉾子大神幸祭が行われる。
この祭りは、今から約九百年前の堀河天皇の御代に起きた鉾子地方の海荒れの際、東大社(東庄町宮本)、雷神社(旭市見広)、豊玉姫神社(香取市貝塚)の三社が、海神の怒りを鎮めるため、初めて鉾子外川浦へ御神幸になられたことが起源で、今回で五十四回目にあたる。御神幸には、旭市倉橋の弥勒三番叟が三社の総露払いとして先導し、そのあとにそれぞれの神社の神輿を中心に大勢の氏子たちが幡旗、威儀物を捧げてお供する。
御神幸のハイライトは四月十日(日)、外川浦のお浜降り(船による海上渡御)とお潮汲みの祭典。そして四月十一日(月)の鉾港神社から白幡神社までの荘厳華麗な三社の神輿パレードである。
この御神幸には、東大社のお供として氏子たちが古式豊かな大名行列、源頼朝公富士の巻狩り、下座、手踊り、大漁丸業売りなどの芸能をもつて供奉し、春らなまの鉾子街道を路外川浦向かう。その雅やかな時代絵巻は、まさに全国屈指の大神幸祭と称せられるので、この芸能を迎えるために、鉾子市内各所に観所が設けられ、見物の人々で大賑いとなる。

由来

一千年毎に行われる鉾子大神幸祭の由来は、人皇第七十三代堀河天皇の御代、高見浦(鉾子)高神あれたの海が、突如として龍巻き、暴風雨に民家を襲った。漁船は壊れ、里人の命はその犠牲となり、惨状が都に伝えられた。当時、神の怒りであった東大社、雷神社、豊玉姫社の三社高見浦へ出向いて海神の怒りを和らげるおまつりを行なわれる。その日四月八日(土)で、毎年祭日と定められた。以来、天をなまの九回は毎年同じ日に鉾港神幸になつてきたが、第十回(日)は二十一年毎に度(年)に改められた日と定まる。

4月11日(日) お潮汲み祭典 (9:20~12:50)
お浜降り及びお潮汲みの祭典、お神輿御練りは、外川関所付近にて執り行われます。

4月12日(月) 神輿パレード (12:00~14:00)
鉾港神社から白幡神社まで



御神輿巡行

10日(土)	11日(日)	12日(月)
<ul style="list-style-type: none"> 桜井御産宮 7:00~7:50 小船木神達塚 8:00~8:30 鉾本関所 8:40~9:05 野尻関所 9:10~9:40 野神明社 9:50~10:20 高田関所 10:30~11:20 高田関所 11:30~12:00 芦崎関所 13:00~13:30 余山関所 13:40~14:10 松岸関所 14:20~14:50 海上八幡宮 15:00~15:50 松崎関所 16:00~16:40 長塚関所 16:40~17:10 本城関所 17:20~17:50 小川関所 18:00~18:30 渡海神社 18:40~ 駐泊 	<ul style="list-style-type: none"> 渡海神社 7:00~8:00 外川関所 8:30~9:00 外川浦お浜降り 9:20~12:50 高神関所 13:00~13:30 宮三郎家 13:50~15:20 小畑関所 15:30~16:00 前宿関所 16:20~16:50 鉾港神社 17:00~ 駐泊 	<ul style="list-style-type: none"> 鉾港神社 11:00~12:00 神輿パレード 12:00~14:00 白幡神社 14:00~15:00

平成二十二年 四月十日(土)~十二日(月)

第五十四回 式年 鉾子大神幸祭

式年 鉾子大神幸祭

二十一年に一度、悠久の時、荘厳な時代絵巻が甦る

